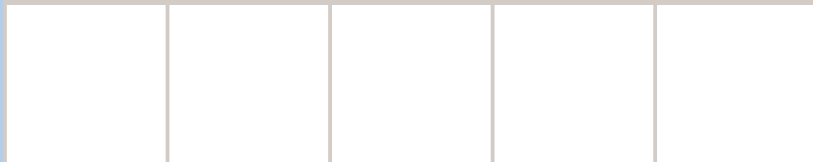




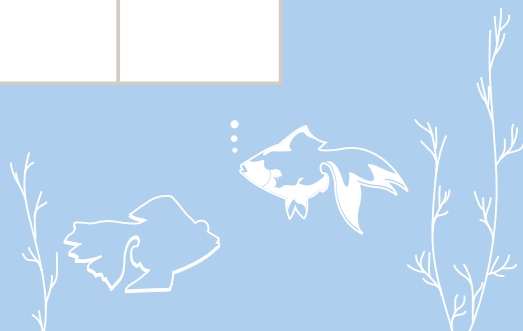
# 中学校 社会科のしおり

2008年 **7** 月号

社会科の先生方でご覧ください



帝国書院



## 中学校 社会科のしおり

2008年7月号



### 表紙写真解説

#### 中国版新幹線 和諧号

(写真 帝国書院)

写真は中国の遼寧省の省都、瀋陽北駅に停車している「和諧(ホーシエ)号」。2007年4月から運行を開始した在来線型新幹線CRH(China Railway High-Speed)の中でCRH5(イタリア)と呼ばれるタイプで、他に外見は日本のJR東日本の「はやて」型新幹線E2系に極似し、実際、川崎重工の技術提供のもとで作られたCRH2などがある。現代中国の鉄道では、旅客列車の高規準化は後回しにされてきたが、中国は日本の新幹線と同じ1435mmの標準軌で、重量のある貨物機関車の走行に耐えるような構造になっている。改良によっては十分高速化が可能であり、在来線での高速化がはかられた。今回の高速化は「全国鉄路第六次提速」と呼ばれており、これまでの機関車による牽引型の列車から、複数の電動車と付随車を組み合わせた電車型の列車編成(中国では「動車組」という)にしたところが大

きく異なる。1編成8輛からなり、そのうち4～5輛が電動車で、最高時速は250kmに設定されている。

2007年12月には、電動車を6両にした新編成が登場し、最高時速も300kmを想定している。内装・設備もこれまでの中国の列車とは大きく異なる。5号車は食堂車になっている。CRHは全国各幹線での走行が実現しているが、とくに東北地区や北京、上海等の大都市周辺での高速化がすすめられている。CRHの1号列車である北京・瀋陽間を走るD1列車は、両都市間を4時間で結び、従来型最速特急の5時間半を大きく上回る。ただし料金は、従来の特急の155元(軟座)よりも高い218元(2等)となっている。なお「和諧社会」とは、格差が拡大している中国社会の調和を図ろうとする、胡錦濤政権の最も重要なスローガンである。(滋賀大学理事 秋山元秀)

